

福祉パレット

災害ボランティアとは



東日本大震災で被災された皆様に
心からお見舞い申し上げます。

災害ボランティア活動の心得

東日本大震災では、多くのボランティアが活動されており、その活動に大きな期待が寄せられます。

一方、ボランティア活動が被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないよう、一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

1. 被災地へ行く際は、事前に現地の災害ボランティアセンターに連絡し、被災地の情報収集を行い、ボランティア活動への参加方法や注意点について確認しましょう。
2. 被災地での宿泊先や水、食料、その他身の回りの物は、被災地の状況に合わせて手配しましょう。
また、ボランティア保険に加入しましょう。
3. 被災地に到着した後は、必ず災害ボランティアセンターを訪れ、ボランティア活動の登録を行いましょう。

なお、向日市社会福祉協議会では、被災した宮城県（多賀城市、塩竈市、山元町）の災害ボランティアセンターへ運営支援のため職員を派遣しました。

現地では、被災地域の状況把握やボランティア要請の受付及び調整、また避難所の炊き出しに係る申出のマッチングなどを行いました。

平成23年度 事業計画

人と人とのつながりを大切にし、すべての住民が安心して暮らせるまちをめざして

●基本方針●

価値観の多様化や住環境の変化により、単身世帯や高齢者世帯が増えて家庭や地域社会のあり方が様変わりし、見守りや支え合いといった新たな課題が生まれています。社協は、地域社会の解決すべき問題を発見し、住民の自主的活動や協働事業などを組織して、地域支援の活動を展開していきます。

●重点目標●

1 「地域福祉活動計画」の策定

平成24年度から5カ年の第2次「地域福祉活動計画」を策定するため、市民及び福祉関係者が参画した策定委員会を設置し、市の「地域福祉計画」（平成23年～27年）との整合性を図りながら計画策定に取り組めます。

2 地域福祉の推進

高い公益性を有する本会は、



子育て交流

3 相談体制の充実・強化

高齢者や障がい者とその家族の様々な相談や個別支援に対し、地域包括支援センター及び障がい者地域生活支援センターの役割・機能を十分に

4 ボランティア活動の充実・拡大

発揮し、必要な支援やサービスへとつなげます。



小学生へのボランティア体験教室

5 介護保険事業の健全な経営

利用者が在宅で安心して生活ができるよう、良質な介護サービスを提供するために、介護職員の資質向上と事業運営の透明性、中立性、公正さの確保を図りながら、自律した経営をめざします。

平成23年度 会員募集のお願い

みんなで進める地域の福祉

社会福祉協議会は、市民の皆様が共に支えあい、その人らしく、安心して暮らせるまちを目指して事業を行っています。

その事業運営のためには、皆様からの会費が欠かせないものとなっています。

一人でも多くの方に活動の趣旨をご理解いただき、会員に加入していただけるよう、お願い申し上げます。

会費は、次のような事業に使わせていただきます。

- ☆子育て支援事業
- ☆障がい児・者ふれあいレクリエーション
- ☆地区社会福祉協議会（地区社協）への支援
- ☆ひとり暮らし高齢者への防災・福祉合同パトロール
- ☆敬老祝品の贈呈
- ☆福祉団体への支援（老人クラブ、障がい者団体、その他の福祉団体）
- ☆福祉資金の貸付

会費には、次の種類があります。

（世帯の皆様を対象に）

一般会員……一口 **500円**

特別会員……一口 **3,000円**

（向日市内の企業・団体の事業所、会社、商店などの皆様を対象に）

賛助会員……一口 **5,000円**

（福祉のまちづくりにご賛同いただく篤志家の皆様を対象に）

名誉会員……一口 **10,000円**

*会費口数には制限はありません

*自治会・町内会組織のない、また所属されていない方でもご加入いただけます。

お問い合わせ先

総務係 電話932-1960

まちかどウォッチング



平成8年から毎日続いている朝（6時45分～7時）のラジオ体操があります。

最年長89歳の女性は「犬の散歩している時に自ら声をかけて参加した。仲間ができて嬉しい。」ひとり暮らしの女性は「近所とあまり交流がない。朝みんなと体操することで1日の生活の張りができた。」と話されます。

各自が無理なく参加して、健康や料理などのお喋りをしているところも素敵です。時にはランチをしたり、お出かけすることもあるそうです。

またお金を出し合い、清掃道具を揃えて公園掃除をされるなど、自発的な活動だからこそみなさんの意識は高く、そこが魅力です。

世話役の藤原さんは「地域のみなさんと公園いっぱい体操できれば。」と抱負を語られます。



撮影：平成23年5月9日（月）

深田川公園 朝に地域でラジオ体操！

まちがいさがしクイズ

下記の2つのイラストには、まちがいが5つあります。さがしてこたえてください！



*応募方法

はがき又はFAXに、①回答②氏名③住所④今回号で特に関心があつた記事（複数回答可）⑤「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

*締め切り

平成23年8月1日（月）まで必着

*送り先

〒617-10002

向日市寺戸町西野辺1の7
向日市福祉会館内 総務係

FAX 933-4425

くらしの資金（夏期）のお知らせ

疾病や失業等により、一時的にお金のやりくり困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために、「くらしの資金」の相談を受け付けます。

受付期間

7月1日（金）～14日（木）

午前9時～午後4時
（土・日曜日を除く）◎要予約

貸付限度額

1世帯あたり10万円以内

●ご相談は、地域福祉係
（電話932-1961）まで。

平成23年度 歳末たすけあい募金 配分助成金のお知らせ

助成金額

上限5万円

市内の福祉関係団体等が行う地域の方々とながりをつくり、輪を広げていくための地域福祉推進事業に対して、予算の範囲内で事業に要する経費の一部を助成します。ただし、団体の運営費用を除きます。

募集期間

平成23年9月1日（木）

～9月15日（木）

午前8時30分～午後5時

※土・日曜日除く

交付日

平成23年12月下旬



あなたも考えよう！

高齢者が安心して暮らせる 地域のあり方

社協では自治会・民生委員・地区社協・ボランティアなどの関係者が集まり、高齢者見守り活動を推進していくことについて話し合いをしています。

高齢者見守り活動を地区社協・ふれあいサロン・地域サポーターが取り組み、そこから見えてきたこと

①地域に高齢者が増えてくる中で

「だれにも気づかれずに自宅でゴミに埋もれて孤独死されている」「認知症で自宅に帰ることができなくなってしまう」「少し離れた身内は無関心、火の元が心配なんだけれど」

行政や介護サービスだけでは解決できない。

②見守り支え合える日常生活エリアでの隣近所のお付き合い

複雑多様化する社会システムのなかで高齢者は取り残されがちです。地域福祉を推進することは隣近所で少し困りごとや悩み事の相談ができる人がいることで、悪徳商法の被害に会わず、制度・施策や民間サービスをうまく活用して、安心して生活することができる地域づくりを目指すことです。

地域づくりのための協働の取り組みって？

③自発的に「地域福祉＝楽しく交流」、やさしさの輪を地域に広げる

地域とひと言で言っても個性があります。その個性を生かしながら隣近所でできること、気の合う仲間のできる、町内会でできることなどを少しみんなに声を掛けながら考えてみましょう。

茶飲み友達を作ろう！

いろんな作品づくりに挑戦！

地域の孤立しがちな高齢者の方が笑顔になるために！

ちょっとゴミ出しのお手伝い

唱歌を歌ったり、カラオケしたり



福祉で地域づくり研究集会【報告】

～自治会・町内会のこれからを語りました～

去る3月19日、市内の区・自治連合会を通じて、町内会長の皆さんに参加を呼び掛け、56人がこれからの地域づくりについて語り合いました。グループに分かれて「地域づくりで大切にしたいこと」「私が心配している地域の課題」をポストイットに書き出し、みんなで地域づくりの「スローガン」を考えました。



アンケートでは…

●住んでいる自治会・町内会の現状について

「地域のつながりがあり、役員等を通して助け合える関係がある。」33%
「いろいろと取り組みはあるが、隣近所の助け合いはあまりない。」33%
「取り組みも少なくなり、あまり必要性が感じられなくなっている。」18.5%
その他に「自治会が無い」「自治会が無くなった」という回答がありました。

●自由記述から

・「地域で若い人との関わりをつくっていききたいが、なかなか参加してもらえない。いい方法はないか？」
・「研究集会を開催されたことは意義がある。継続性を持って取り組むことで助け合えることが増えてくるのでは。」
・「地域で人とのつながりをつくるには悩みが打ち明けられる場が必要と思われる。また人と人との絆をつくるには本音を話し合える度量もいる。」

善意のご寄付ありがとうございました。

(平成23年2月11日～平成23年5月19日)

善行を奨める会 恒田 三千雄	10,000円
向日市中央公民館 木曜生花クラブ 様	10,000円
向井 一恵	10,000円

ボランティア募金箱の設置にご協力ありがとうございました。

28,662円の募金が集まりました。

オカダ酒店／神崎屋／キッチンタロー／麒麟園／
向陽ゴルフセンター／タックメイト万源／中華料理
ほあんほあん／なかの食品／野村龍酒店／はな
こ／フォレノワール／ライフシティ東向日／洛園



平成23年2月23日(水)
に向日市のボランティア団体「向福グループ」様から
車いす2台を寄贈いただきました。
この車いすは、一時的に
車いすが必要な方への貸出
し用として活用させていただきます。

「車いす2台」寄贈
ありがとうございました。

向福グループ様から

『福祉サービス利用援助事業』 のご案内

こんな時は、ご相談ください



◆書類の整理や手続きが不安

- ・市役所や銀行などの書類の内容や書き方、手続きがわからない

書類の整理や手続きをお手伝いします。

◆お金の管理が不安

- ・銀行でのお金の出し入れが不安
- ・お金を使い過ぎてしまう
- ・税金や家賃、電気、ガス代などの支払いができていないか確認して欲しい

利用者と同行または代行し、金融機関の手続きをお手伝いします。
各種支払いの確認や生活費の使い方を一緒に考えます。

◆福祉サービスを利用したい

福祉サービスの種類や利用手続きについて説明します。

◆通帳やはんこ・年金証書などの大切な物の保管が不安

社協の金庫で保管します。
・通帳やはんこは、銀行の手続きを行う際に生活支援員【注1】が利用者のもとへ持参します。
※預かり保管のみの利用はできません。

注1：利用者が必要とする内容・頻度に応じて訪問し、お手伝いする職員。

福祉サービス利用援助事業は、利用者の意思に基づいて支援を行います。くわしくは、地域福祉係までご相談ください。

「デイサービス・デイケアって、 どんなところ？」

ご利用の方の感想を聞いてみました



向日市社協居宅介護支援事業所では、向日市在住の要介護1～5までの221名(H23年4月現在)の方の居宅介護計画(ケアプラン)を作成しています。

全体の67.9%の方がデイサービスやデイケア(通所サービス)をご利用で、最近では、初めて介護保険のサービスを利用される方でも「デイサービス(デイケア)に行きたいのだけれど…」と言われる方が多くおられます。

そして、そのほとんどの方が「興味はあるけれど、どんな所だろう?」と不安な気持ちがあり、また、すでに何らかのサービスをご利用の方も「ほかの人は、どんなサービスを使っているのだろうか?」と他のサービスに高い関心を持っておられます。

今回は、デイサービスやデイケアをご利用の方や、そのご家族の“デイサービス・デイケアに行ってみて”の感想をいくつか紹介します。

◆ご本人

- 「デイサービスは“お年寄りの行く所”というイメージが強く、抵抗があった。でも、行ってみたらお風呂が気持ち良く、スタッフも来られている方も明るく優しい。もっと早く行っておけば良かったと思った。」(80代 女性)
- 「車いすでも、お風呂に肩まで浸かれるのが嬉しい。」(90代 女性)
- 「デイケアで教えてもらった体操を家でもやっている。」(70代 男性)
- 「デイケアに行くと、いろいろな病気や悩みを持っている方が多く、自分だけがしんどいのではないと思うようになった。」(70代 女性)
- 「今まで人前で歌をうたうことなんてなかったが、デイサービスのカラオケに思いきって挑戦したら、楽しく、今では趣味のひとつになった。」(70代 男性)



◆ご家族

- 「朝は本人の身体が硬く、ベッドから起こすのも大変だが、デイサービスから帰って来ると、入浴や体操で身体がほぐれるのか、手足が動かしやすいように思う。」(70代の夫を介護)
- 「デイサービスでの様子は、本人に尋ねてもくわしくは分からないが、帰って来てニコニコしているのを見ると、楽しかったのだと思う。本人も嫌がらずに行っているので、続けていきたい。」(70代の妻を介護)
- 「出かける時には身だしなみに気を配り、帰って来ると、仲良くなった方の話しをしている。家ではしんどそうにしているのに、と不思議。」(80代の母を介護)



初めてのご利用で満足される方もあれば、「なかなかなじめない。」「雰囲気合わない。」「話の合う方がいない。」と悩まれている方もあります。

最近は、ほとんどのデイサービス・デイケアで体験利用が可能なため、最初に体験されることをお勧めしています。また、ご利用になられてからも、曜日や事業所の変更は可能です。

ケアマネジャーは、ご本人やご家族の“こうなりたい”“こういうふうに住みたい”というイメージに近づけるよう、一緒に検討いたします。

ヘルパーと ともに パート19



前向きに生きる

橋爪 睦子さん (81歳)

今回ご紹介する橋爪さんは、ヘルパーが訪問すると、「はい、どうぞー」と明るく優しい声が返ってきます。また、「みんなのお母さん」という雰囲気、橋爪さんのそばにしていると誰もがほんわかと安らぎを覚えます。

プロフィール紹介

ご本人は、昭和5年佐賀県生まれで、お仕事は、電動ミシンで着物の小物作りを16年間続けてこられました。「この仕事が好きで、趣味が仕事だった。」と話されています。75歳まで他の仕事もされており、「いつも元氣な働き者」でした。その頃に右膝が悪くなり、仕事を辞めることになりました。また、8年前にご主人が他界され、今は、ひとり暮らしですが、明るく意欲的に生活されています。近所の方には、ご自分で出来ないゴミ出しなどを助けていただき、大変感謝されています。橋爪さんの室内は、趣味のちぎり絵がきれいに飾っており、ほっと癒されます。

リハビリを頑張る橋爪さん

平成18年2月に右変形性膝関節症の人工関節置換手術を受けられ、10月に再手術の後、リハビリのため転院、2か月後に退院されました。2年後に右膝に菌が入り7回の手術に耐え、苦しいリハビリを3か月頑張って退院されました。退院後は、

主治医から聞いた自宅のできる足踏みや、ポールを膝にはさんで力を入れるリハビリなど毎日続けられ、週1回訪問の理学療法士からも指導を受け、今では杖なしで室内を歩行されるまで回復されました。これからもリハビリを続け、「会いたい人がいっぱいいるので、階段を1人で降り、杖1本で歩いて会いに行くのを目標にしている」と意欲的に話されています。

日常生活は早寝早起き、一日三食きちんと食べるなどを実践し、健康維持に気をつけておられます。「自分で出来ることは自分でする」「くよくよしても仕方がない」をモットーに、まだ思うように体が動かないのですが、調理や洗濯、片付け、布団干しなどをご自分でされています。

ヘルパーの訪問

退院後の平成22年4月からヘルパーをご利用されています。内容は、ご自分で出来ない「入浴介助と買物、通院介助」です。ヘルパーの支援について橋爪さんは「いつも1人で悩むより、ヘルパーさんに色々な話(心配事や楽しい事、悩み事)を親身になって聞いてもらい、気が晴れ勇気付けられる。ヘルパーさんのおかげで楽しく1日が過ごせる」と話されています。そんな橋爪さんをヘルパーは、人生の先輩として尊敬しています。

健康 コラム

知って得する認知症

第2回

～だれもが安心して暮らせるまちづくりをめざして～

「認知症」についての誤解や偏見をなくし理解を深めるために、4回シリーズで掲載しています。今回は病気のメカニズムについてふれましたが、今回はその症状についてのお話です。

まず、「認知症」と「老化による物忘れ」の違いを理解しましょう。違いは脳機能の低下速度にあります。認知症の場合、短期間に急激に脳の機能が低下する傾向がありますが、一方老化による機能の低下はゆるやかです。

認知症の症状には、記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下などがあり、まわりで起きている現実を正しく認識できなくなります。さらに、本人の性格や生活環境、家族関係などさまざまな要因がからみ合い、不安・焦燥、うつ、幻覚・妄想、徘徊、暴力、不潔行為…など日常生活への適応不順が起きます。

本人は認知症状を自覚していることが多く、これは自信喪失や怒り、うつ状態につながることもしばしばです。症状をきっかけに、人間関係や家族関係にも悪影響を及ぼし、あらたなトラブルを招くこともあります。

	認知症	単なる物忘れ
物忘れの自覚	なし	あり
体験の記憶	すべてを忘れる	一部を忘れる
性格の変化	見られるようになる	見られない
場所や時間の把握	わからなくなる	わかる
親しい人や行きつけの場所	わからなくなる	わかる

第2回子ども映画会

「トイ・ストーリー3」



日時 平成23年 7月30日 (土)

午前の部 10時30分上映 (10時開場)

午後の部 1時30分上映 (1時開場)

会場 向日市民会館ホール

(向日市寺戸町中ノ段17-1)

入場チケットについて

7月14日 (木) から向日市福祉会館 2 階で
無料配布 (土・日曜日も実施)

※受付時間：午前 9 時～午後 5 時

※お 1 人につき 3 枚まで配布

※配布はなくなり次第終了します

お問合せ 向日市社会福祉協議会 932-1960

この上映会は、皆様からいただく会費と寄付金で運営されています。

向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様に関心と親しみを持って読んでいただけるよう、紙面の充実に努めてまいりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等を、お気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

総務係 932-1960
地域福祉係 932-1961
障がい者地域生活支援センター 932-1990
地域包括支援センター 921-1550
デイサービスセンター 931-3294
ホームヘルプセンター 932-1968
居宅介護支援センター 931-3030
福祉会館 931-3322

(愛称：むつみん)

